



2005年9月15日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

経口用セフェム系製剤「セフゾン®カプセル」の特許侵害で大洋薬品を提訴

アステラス製薬株式会社(本社:東京、社長:竹中 登一、以下「アステラス製薬」)は、当社が保有する経口用セフェム系製剤セフジニル(製品名:セフゾン®カプセル)の特許権に基づき、大洋薬品工業株式会社(本社:名古屋市、以下「大洋薬品」)に対し特許権侵害の排除を求める訴訟を、9月15日付で東京地裁に提起いたしましたのでお知らせします。

経口用セフェム系製剤セフジニルは、アステラス製薬(旧藤沢薬品)により創製されました。各種β-ラクタマーゼ(抗生物質を分解する酵素)に安定で、グラム陽性菌・陰性菌に対し広範囲な抗菌スペクトルを有し、さらに殺菌の抗菌作用を有する薬剤です。カプセル製剤としては「セフゾン®カプセル」の製品名で1991年に当社より発売、呼吸器感染症をはじめとして、幅広く使用されております。

大洋薬品は、2005年7月にセフジニルの経口用カプセル製剤として「セフロジールカプセル 100mg」の薬価を取得しています。しかしながら、当社はセフジニルの結晶形に関する特許(2008年8月まで存続)を保有しており、同製品が当該特許を侵害していると判断し、東京地裁に同製品の製造販売の差止並びに占有する製剤の廃棄を求める訴訟を提起しました。

アステラス製薬は、今後も当社の保有する特許権に対して侵害がないよう注意を促していくとともに、特許侵害やその恐れが生じた場合には、訴訟提起を含め適切な手段を講じて排除して参ります。

以上